

協同総合研究所 第19回総会 記念フォーラム



哲学者、NPO森づくりフォーラム代表理事

内山 節 氏

協同の労働と連帯の哲学

— 誇りある働き方・生き方を地域から創る —

■プロフィール

1950年東京生まれ。哲学者。現在、東京と群馬の山村に暮らす。著書に『自然と労働』（農山漁村文化協会）、『山里紀行』（日本経済評論社）、『哲学の冒険』（平凡社）、『森にかよう道』『貨幣の思想史』『里』という思想』『怯えの時代』（いずれも新潮社）、『日本人はなぜキツネにだまされなくなったのか』（講談社現代新書）、『戦争という仕事』（信濃毎日新聞社）など。

『これからの社会では、さまざまな連帯が求められていくことになるだろう。労働と労働、あるいは労働者と労働者はどのように連帯していったらよいのか。…自然と人間の連帯、地域社会での連帯、都市と農山漁村との連帯、高齢者と若者の連帯、健常者と障害者の連帯、異なった文化のもとで暮らす人々との連帯…。それらのあり方一つ一つを見つけ出していく積み重ねの先に、私は今日の社会システムとは異なる未来の姿が少しずつ見えてくるような気がする』（内山 節著「怯えの時代」新潮新書、2009）

日時：2009年6月27日（土）13:30～17:30

会場：明治大学駿河台キャンパス研究棟2階 第9会議室（地図参照）

JR中央線・総武線、東京メトロ丸ノ内線 御茶ノ水駅
下車徒歩3分

参加費：第2部総会記念フォーラム
会員・学生500円（非会員は1,000円）

タイムスケジュール

第1部 10:30～12:30 **協同総研第19回総会**
第2部 13:30～15:00 **総会記念講演**
15:00～17:30 **パネルディスカッション**

「協同労働が法制化される時代—労働の人間化、地域的人間的再生を考える」

- **パネラー**：田中羊子氏（ワーカーズコープ・センター事業団専務理事）
“よい仕事”を通じ、働く者・地域が主体者に～協同労働の協同組合の歴史と到達点
- 島村 博氏（協同総合研究所主任研究員、協同労働法制化市民会議副会長）
協同労働法が拓く人と社会の未来
- **コメンテーター**：田畑 稔氏（大阪経済大学人間科学部教授、季報『唯物論研究』編集長、大阪哲学学校参与）
内山 節氏（哲学者、NPO森づくりフォーラム代表理事）

